

第5回 RINK釧路まちづくり交通戦略会議 議事要旨

■日 時：2021年（令和3年）11月1日（月）10時から11時30分まで

■場 所：釧路市観光国際交流センター 3階 研修室

■出席者：末頁のとおり

■議 事

- （1）直近3年間の想定スケジュールについて
- （2）釧路都心部まちづくり計画 住民説明会の開催結果報告
- （3）RINK釧路まちづくりラボの活動報告
- （4）釧路駅周辺及び北大通沿道における交通実態調査の結果報告
- （5）交通戦略の各方策の取組状況・ロードマップ
- （6）釧路駅周辺の再整備方針について

■議事（1）直近3年間の想定スケジュールについて

意見なし。

■議事（2）釧路都心部まちづくり計画 住民説明会の開催結果報告

意見なし。

■議事（3）RINK釧路まちづくりラボの活動報告

（佐藤委員）

・私もまちづくりラボのメンバーの一員であり、若い世代をなんとかして企画に巻き込もうとしている。学生たちは北大通周辺に興味がある。イメージとして割と高い年代の方は北大通にネガティブなイメージが強いが、若い世代はポジティブなイメージを持っている。まち全体というより、魅力的なお店に興味を持っているが、行きたくても敷居が高いと感じている。我々の商店街は昭和世代で、平成・令和の世代に訴求するものが結構ある。彼らの視点をもとに、まち歩きをし、初めは、敷居の低いカフェを巡る方向で話が進んでいる。何とか方向性を見つけ出し、これとまちづくりを組み合わせ、市民全体的な広がりしていきたい。

■議事（4）釧路駅周辺及び北大通沿道における交通実態調査の結果報告

（小久保委員）

- ・南口の駅前広場でここまで細かく調査したことがないので、とても有効な資料である。
- ・コロナ禍の影響について、JR特急券の上期売上は例年の4～6割であり、実態調査の結果に、そのことを加味しないと駅前の駐車場利用は通年とずれがあると考えている。

(佐藤委員)

・コロナ禍の影響について、商店街の来街者は昨年に比べて増えてきてはいるが、コロナ前と日比べると肌間隔で3割減くらいである。駐停車の利用実態は意外と少ないなという印象である。

■議事（５）交通戦略の各方策の取組状況・ロードマップ

(高野進行役)

・室蘭市で街中のオープンスペースを利用したイベントが開催されているが、釧路だとどのような場所の利用を想定しているか。

(事務局)

・北大通界限では、元店舗の駐車場跡地など、まちづくりラボで情報提供を頂いている。また、JR釧路支社さんと色々とお話をさせて頂くなかで、駅前広場も使っても良いというお声がけを頂いており、そのような場所を想定している。2

(高見委員)

・公共空間の利活用は、息切れしない程度に自然に続く規模から始めた方がよい。佐世保の商店街では、特定の日の18時頃にテーブルをお店の前に出して、市民が飲みものとおつまみを持ってやってくる。時間を決めて酒盛りをするのだが、小さなまちなので、中学校の友達とぼったり会って盛り上がるうちにお酒が足りなくなって沿道のお店に買いに行くという感じで、経済的にも回っている仕組みになっている。帯広の屋台も20年くらいやっていて、まちの若者が一杯毎週頑張っているよりも、経済ベースで動くものも同時に考えていった方がよい。

・バスで重要なのはとにかく情報であり、今は皆スマートフォンで情報を入手するので、スマートフォンのシステムを開発して、スマートフォンを持っていない人向けには、バス待合所のデジタルサイネージで確認してもらうのが良い。

・釧路が目指すウォーカブルとは何なのかをもう少し一段踏み込んだ方がよい。北大通から幣舞橋まで歩かせたいのか、どこか違う拠点に滞在させたいのか、歩きまわらせたいのか、目的をはっきりできるとよい。

(佐藤委員)

・鉄道高架が2030年代にできると想定すると・釧路市の人口は10万人くらい。高齢化も進むと考えると、いかにまちにアクセスしやすくするという視点がとても重要であり、沿道アクセススペースをどう活用するかが鍵になると思う。ウォーカブルという視点では、多くの観光客が幣舞橋一帯に集まっていると考えると、駅から幣舞橋までをいかに歩かせるかという考えを持つことが大事だと思う。ビジネス、買物、プラス観光の道としてどう整備するのか、という考えを持つことが大事だと思う。

(高野進行役)

・市民にどうウォーカブルという言葉进行釈して受け取ってもらうというのは、とても重要だと思う。その辺をぜひ考えていただきたい。

(畑毛委員)

- ・WAONは釧路バスで10台くらい路線に取り付けていて、好評をいただいている。
 - ・城山地区の広場にキッチンカー7～8台くらいを入れたイベントが開催され、子どもや奥さんに好評であったと聞いている。近くの駐車場から7～8分かかる環境で、バスも走っていないエリアであったのに賑わっているとのこと。
- もし、北大通で実施できれば、バスの利用も含め、移動がスムーズにいったのではないかと思う。今後の課題として、小さな子供をターゲットに絞ったイベントも考えてみてもよいと思う。

■議事（6）釧路駅周辺の再整備方針について

(松浦委員)

- ・釧路駅周辺の再整備方針について、現在検討されているバス専用道路の線形の場合、周辺の交差点との距離が近く、バス専用道路の交差点部に信号を設置できない。警察からみて非常に重要なポイントと考えている。

(事務局)

- ・現在、駅舎位置について、JR北海道と相談させていただいて、今後、おおむねの位置が決まるにしたい、高架下バスターミナルの配置とそこに至るバス専用道路の線形が定まってくると考えている。まだ決まりということではなく、アドバイスを頂きながら慎重に決めていなければならないと考えている。

(高見委員)

- ・駅周辺の整備については、土地利用、鉄道と接している土地との関係も併せて考えないといけない。道路や駅前広場などの交通施設で土地が分断されてしまい、人が動きにくくなるのは避けたい。
- ・旭川駅は改札を出るとイオンの入口があり、自然とショッピングセンターに入れる形になっている。高架は幅が限定的なので、その下だけを使おうと思うと限界があるので、接している土地と一体的に使うと非常に有効な使い方ができると思う。そういうことも踏まえて、道路配置を考えるべきと考えている。

以上

■第5回 RINK釧路まちづくり交通戦略会議 出席者名簿

(敬称略)

	所属	役職	氏名	備考
1 (進行)	北海道大学 大学院工学研究院土木工学部門	教授	高野 伸栄	釧路都心部まちづくり推進協議会 (準備会) 座長
2	法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科	教授	高見 公雄	釧路都心部まちづくり推進協議会 (準備会) 委員
3	北海道旅客鉄道 (株) 釧路支社	執行役員 釧路支社長	山田 浩司	(代理: 企画・経理グループリーダー 小久保利厚)
4	くしろバス (株)	参事	畑毛 正文	
5	阿寒バス (株)	営業本部長	須田 広伸	
6	釧根地区ハイヤー協会	事務局長	鎌田 浩宣	
7	釧路商工会議所 地域開発委員会	委員長	杉村 荘平	欠席
8	釧路ビジネスサポートセンター k-biz	センター長	澄川 誠治	欠席
9	釧路第一商店街振興組合		三島 基浩	欠席
10	くしろ北大通商店街振興組合	理事長	佐藤 公一郎	
11	釧路末広仲見世通商店会	会長	岡野 公夫	欠席
12	釧路駅前商店会	幹事	岡部 源三	(代理: 河瀬 真寿)
13	釧路駅西商店街振興組合	理事長	柿田 英樹	欠席
14	釧路市共栄大通商店街振興組合	理事長	小林 嘉明	欠席
15	若松町商店街	会長	佐藤 利夫	欠席
16	釧路市商店街振興組合連合会	事務局長	小澤 謙次郎	
17	一般社団法人 釧根地区トラック協会	専務理事	野村 和人	
18	一般社団法人 釧路観光コンベンション協会	専務理事	山田 達也	欠席
19	北海道開発局釧路開発建設部道路計画課	課長	大江 祐一	
20	北海道釧路建設管理部道路課	課長	三城 圭吾	
21	北海道運輸局釧路運輸支局	首席運輸企画専門官	若杉 貴志	
22	北海道警察釧路方面本部交通課	課長補佐	松浦 大史	
23	北海道釧路方面釧路警察署	交通第一課長	杉本 考一	
24	釧路市総合政策部都市経営課	課長	橋本 博恵	欠席
25	釧路市総合政策部都市経営課	政策推進主幹	池田 利伸	
26	釧路市住宅都市部都市計画課	次長	松本 敦	
27	釧路市産業振興部商業労政課	課長	田北 剛	
28	釧路市産業振興部商業労政課	中心市街地活性化主幹	家次 保壽	
29	釧路市産業振興部観光振興室	室長	石田 貴志	(代理: 室長補佐 狩野真也)
30	釧路市都市整備部道路河川課	課長	山口 透	
31	釧路市都市整備部公園緑地課	課長	田中 伸嗣	